



笹小だより 1月号



2024 年をデザインする

校長 佐々木 和美

◇ 新年、明けましておめでとうございます ◇

新しい年がスタートしました。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等が猛威を振るう中においても、子どもたちの笑顔は輝いています。新年の抱負や希望を胸に、子どもたちは元気いっぱいに登校してきました。

今年は辰年です。干支の中で辰（竜）だけが架空の動物ですが、なぜ竜だけが実在しないのかは諸説あり実際は分かっていないそうです。干支の起源である古代中国では、「竜が実在する」と信じられていたり、恐竜の骨が見つかり「竜の骨」とされたり、ワニのことを竜のモデルと考えたりといった理由があるようです。ただ神聖で縁起がよく、上昇するといった認識は共通です。この2024年が子どもたち、保護者の皆様、笹野台地域の方々にとって良い年になるよう、笹野台小学校職員一同願っています。

さて、6年生はあと49日、笹野台小学校で過ごした後、卒業となります。1年生から5年生は52日間、今の学級で学んだ後、春休みに入り進級します。毎年感じていることですが、1月に入ると加速度的に時が速く過ぎるように感じます。時間は今までと同じように進んでいるのに、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」とはよく言ったもので、今年度を振り返った時に、「あれもこれもやらなければ…」と氣ばかりが急ぎ、そのように感じるのかもしれませんが。また時間は有限であり、前にしか進まないため、卒業や進級といった節目を前にして、今まで通りではいられない、元には戻れないという気持ちも湧くのかもしれません。いずれにせよ2024年は始まったばかりです。4月からの新しいステージに備え、今までの自分を振り返り、逸る気持ちを抑え、今年度中にやり残したことをじっくり行ったり、身につけたい力や自分にとって必要だと思う考え方等を確認め、どうすれば自分の力になるのか試行錯誤したりするようにしたいと思います。子どもたちだけでなく大人も、自分をしっかり見つめ、あるべき姿を目指すため、2024年が始まったこの早い段階で、自分自身にあった「2024年をデザインする」ことをおすすめしたいと思います。

右は学校説明会の資料です。笹野台小学校の最終目標は、「子どもたち一人一人の幸せ、夢の実現」です。そのために6年間を通して、また1年間の中で、いつどのように子どもたちを支援していくのかをデザインしています。また、子どもたち一人一人の思いや願いにそって支援の仕方も変えていきます。しかしながら子どもたちは、一直線に伸びていくばかりではありません。紆余曲折あり、良い面だけでない面が見られることもあります。しかしそれは、後退しているということではなく成長の一端です。一喜一憂せず、しっかり子どもを見つめたいと思います。

【こんな笹野台小学校をめざします】

☆学校・家庭・笹野台の地域の方々連携して、子どもたちを育てます。

☆子どもたちが幸せになるために必要な基礎・基本の力が身につけるようにします。

